

環境衛生の科学(第2版) 正誤表および追加

頁	誤	正
13 上 1	・・・をもたらしてきた。	・・・をもたらしてきた。
13 脚注*1)	農耕の始まりは6000年前といわれているが、 焼畑、開墾、治山治水により・・・	農耕の始まりは焼畑、開墾、治山治水により・・・
23 上 12	残留性有機汚染物質(POPs)として2009年にはテトラブロモジフェニルエーテルやパーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)とその塩など9物質が新規に追加された。	
27 下 11	のように、生物が棲息環境より・・・	のように、生物が生息環境より・・・
44 表 3-3 TEF 値	(1997年 WHO) IUPAC 81 IUPAC 169 IUPAC 105、114、118、123、156、157、167、 189	(2006年 WHO) 0.0003 0.03 すべて 0.00003
48 表 3-4 TEF 値	(1997年 WHO) octaCDD 1,2,3,7,8-pentaCDF 2,3,4,7,8-penta octaCDF	(2006年 WHO) 0.0003 0.03 0.3 0.0003
51 図 3-16	食品からのダイオキシン類の1日摂取量は2009年では、0.84pgTEQ/kg/日である(厚生労働省)。	
68 脚注*1	$\text{CH}_2-\text{CO}-\text{O}-\text{NO}_2$	$\text{CH}_2-\text{CO}-\text{OONO}_2$
84 下 17	日本人の日常食からのカドミウム1日摂取量は2007年の調査では、21.1μg/日である(厚生労働省)。	
84 下 3	コメ(玄米および精米)のカドミウム基準値は2011年より、0.4mg/kg(0.4ppm)以下である(厚生労働省)。	
137	図 4-12	図 4-13
138	図 4-13	図 4-12
166 付表 3-2	タイトルを「有害大気汚染物質(ベンゼン等)に係る環境基準」とする。 右端に「ジクロロメタン」を追加。 物質: ジクロロメタン 環境上の条件: 1年平均物質が0.15mg/m ² 以下であること 測定方法: 同左	
167 付表 4-1	カドミウム 0.003mg/L 以下 1,1-ジクロロエチレン 0.1mg/L 以下 最下部に追加 1,4-ジオキサン 0.05mg/L	
172 付表 5	カドミウム及びその化合物 0.003mg/L トリクロロエチレン 0.001mg/L	
173 付表 6-1	1,1-ジクロロエチレン 1mg/L	
174 付表 6-2	亜鉛含有量 2mg/L フッ素含有量 の行を削除	